

平成 27 年度第 2 回東京都歯科保健対策推進協議会歯科保健目標検討評価部会

次第

日時：平成 27 年 11 月 11 日（水曜日）10 時から
場所：東京都庁第一本庁舎 33 階 S1 会議室

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 挨拶
- 4 議 事
 - (1) 東京都歯科保健目標「いい歯東京」調査報告書について
 - (2) 歯科口腔保健推進事業等の取組について
 - (3) 高齢期における歯科保健対策について
 - (4) 在宅歯科医療の推進について
 - (5) その他
- 5 閉 会

資料

- 1 東京都歯科保健対策推進協議会設置要綱
- 2 東京都歯科保健対策推進協議会歯科保健目標検討評価部会設置要綱
- 3 東京都歯科保健対策推進協議会歯科保健目標検討評価部会委員名簿
- 4 東京都歯科保健目標「いい歯東京」達成度調査報告書 概要
- 5 東京都歯科保健目標「いい歯東京」達成度調査報告書 送付先一覧
- 6 平成 27 年度歯科口腔保健推進事業及び東京都歯科保健目標「いい歯東京」の達成度追加調査の実施について
- 7 高齢期における歯科保健対策
- 8 在宅歯科医療の現状
- 8 - 2 高齢者・在宅療養者に対する支援（区市町村の取組）
- 8 - 3 在宅療養を支える歯科医療資源
- 8 - 4 歯科医療サービスの提供体制の変化と今後の展望
- 9 目標設定までのスケジュール

参考資料

- 参考資料 1： 歯科保健目標「いい歯東京」
参考資料 2： 東京の歯科保健 東京都歯科保健医療関係資料集（平成 26 年 10 月）
参考資料 3： 東京都歯科保健目標「いい歯東京」達成度調査報告書

- 現在歯数は、平成16年度に比べ、どの世代についても増加している。特に、65歳～84歳までの年齢階級では、増加傾向が顕著である。
- 重度歯周病である者の割合は、平成16年度に比べ、どの世代についても減少しているが、65歳から84歳までの世代では、4割以上が重度歯周病となっている。
- 口腔内の状態に満足している者は、平成16年度に比べ、どの世代についても減少しているが、年齢階級間でみると、年齢階級が高くなるにつれ満足していると回答した者は増加しており、70歳以上では50%を超えている。
- 65歳以上の不満足の内容については、「食べ物が歯と歯の間にはさまる」と回答した者の割合が62.2%であり、他の内容の3倍以上であった。
- 65歳以上のデンタルフロスや歯間ブラシ等を用いた丁寧な歯磨きの状況は、59.5%であった。



- ◆ ライフステージごとに必要な口腔ケア、知識の効果的な普及啓発
- ◆ 高齢者人口の増加を見据えた高齢期の口腔機能の維持・向上を図る取組

在宅歯科医療の現状と課題

- 訪問歯科医療を実施している歯科診療所の割合は、平成21年度に比べ5.4ポイント減少し、5割程度となっている。
- 平成23年度の調査によると、在宅歯科医療の依頼は、「通院していた患者が在宅医療を受けようになったから」が最も多く、「介護関係者や訪問看護ステーションからの依頼」はわずかであった。
- 介護保険施設や訪問看護ステーションでの口腔ケア等の取組状況について、口腔ケアや摂食嚥下、口腔機能に関するマニュアルを有している割合がいずれも減少した。



- ◆ 在宅歯科診療を進めるために、歯科医師と介護関係者や訪問看護ステーションとの連携の推進
- ◆ 施設や訪問看護ステーションで実施する口腔ケアの取組について、マニュアル等の整備（新規施設、小規模施設等に対し）の促進・支援